



現代中国における民俗宗教 —シャーマニズムと民間信仰をめぐって—

講師 色音氏

中国社会科学院民族学與人類学研究所研究員
国際日本文化研究センター客員外国人研究員

【主な著書・論文】 『蒙古民俗学』(民族出版社、1996)、『東北亜的薩満教』(中国社会科学出版社、1998)、「神々の南北対話—シャーマンとスニの比較民俗学的考察」(『民俗宗教の比較研究』勉誠出版、1999)がある。

【概要】 中国は56の民族から成り立つ多民族国家であるものの、今回は主に北方少数民族のシャーマニズム、祖先崇拜、動物精霊信仰などを中心に現代中国における民俗宗教の現状と現実問題を紹介する。同時にチベット族のボン族および西南少数民族の民間信仰についても紹介する。なお、民間宗教者は近代文明をどのように受け止めたかという問題にも触れ、近年に中国で起こっている伝統文化復興現象の中に民俗宗教の位置づけなどの新しい動きを視野に入れながら、近代的語りの中で中国民俗宗教の変容について述べて頂きます。

2004年10月29日(金) 15:00～17:00
名古屋校舎 研究館2階第1会議室
【日本語講演】



【主催】愛知大学国際中国学研究センター

【お問い合わせ先】愛知大学ICCS事務室

〒470-0296 愛知県西加茂郡三好町黒笹 370

Tel : 0561-36-5637 (内線 2862) Fax : 0561-36-5422 (内線 2869)

聴講無料